



点検！『新たな不登校を生まない学校づくり』

学校教育課指導主事 宮澤 均

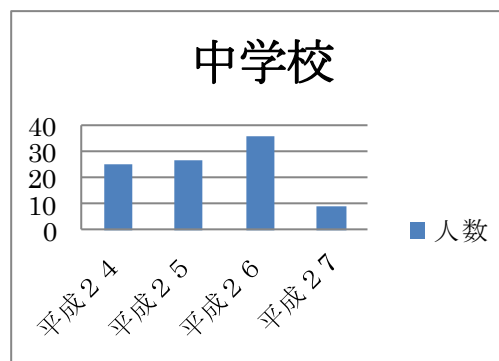
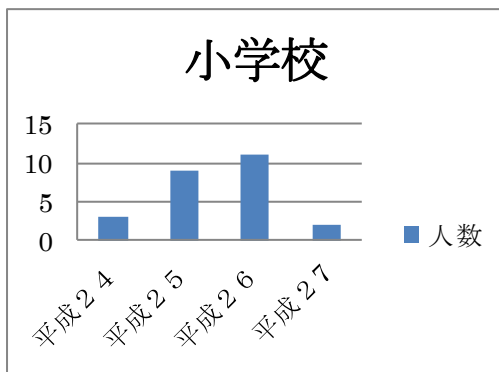
今年度の重点の1つに、「新たな不登校を生まない学校づくり」があります。
十日町市の不登校児童生徒数（年間30日以上欠席、病気や経済的な理由を除く）

は、深刻な状況にあり、新たな不登校を出さない対策が急務です。

昨年度末から、市教育センターでは、「新たな不登校を生まない学校づくり（不登校児童生徒を減らす）」を目指し、年間を通じた不登校研修会を実施しています。不登校の前兆（過去に休みが続いた、登校しぶりがあった等）をとらえ、小中間、学年間で十分な情報交換を行い、徹底的に支援していく。具体的には、子どもへの声掛け、座席配置の配慮、その子に合った学習支援、家庭との密な情報交換、専門機関との連携等、不登校児童生徒に対する有効な方法を職員で共有し、実践してきました。

現在、不登校状態の児童生徒については、市適応指導教室（にこやかルーム、教育センター）や校内適応指導教室の活用を図り、学校復帰を支援しています。その結果、市の適応指導教室に通うことで他の生徒とコミュニケーションをとれるようになった生徒や学校復帰した生徒がいます。また、教育センターの適応指導教室で、相談員と話したり、会話をしたりする中で、学習を始めた児童がいます。このように市の適応指導教室は、家から一歩踏み出すきっかけとなっています。

<新たな不登校児童生徒数>※平成27年度は、9月分まで



夏休みが終わって9月までの新たな不登校児童生徒数は、小学校では2人、中学校では9人です。ただ、その数は、昨年に比し減少していて取組の成果が確認できます。特に中学校1年生では、半減しています。年度をまたいだ小中連携と情報連携の日常化の成果が着実に表れてきています。

今年度前半の取組の成果と課題を全職員で共有し、年度後半の取組をお願いします。

■第2回小中一貫教育連絡協議会

11月16日（月）に、第2回十日町市小中一貫教育連絡協議会を行いました。

この会は、

（1）中学校区の連携・交流活動など小中一貫教育の取組に関する情報交換をする。

（2）小中一貫教育に関する課題を摘出し、改善に向けて十日町市教育委員会に提案する。

の2点を目的に、「学識経験者」、「保護者の代表」、「地域住民の代表」、「市内小中学校教職員の代表」と教育委員会事務局合せて25人が一堂に会して協議する会です。（※メンバーの詳細は、平成27年5月29日に発行した14号をご覧ください。）

今回の主な協議内容は、

①平成27年度取組評価の中間発表と平成28年度十日町市小中一貫教育実施計画（素案）の提示、説明と意見交換

②各中学校区の小中一貫教育の取組報告と質疑応答です。

①については、2つの重点目標に関わり、「自己有用感や自尊感情を獲得する取組に重点を置き、キャリア教育やふるさと教育などで地域の協力を得ながら、心身共にたくましい児童生徒を育成すること」「小中9年間を通してアクティブラーニングの手法等を取り入れ、活用型学力を養い、学習意欲を高めたり自主的な学習習慣を身に付けさせたりする工夫を大切にすること」などが確認されました。また新たにNRTの目標偏差値が提示されました。

②については、各中学校区の取組において、1日異校種体験研修で小中学校の教職員の理解が深まったり、学習指導の視点の改善につながったりしたこと、小小や小中の交流活動、絆交流活動、学校地域の合同挨拶運動等で、児童生徒のふれあいが深まったことなどが報告されました。

しかし、教職員の意識をどのように高めて継続・改善を進めていくか、学校の教育活動を地域とどう結び付けていくかなどの課題が挙げられ、活動の目的やねらいを明確に共通理解して取り組んでいく必要があることなども挙げられました。

今回の協議をもとに、第3回の連絡協議会で次年度の実施計画（案）を提示します。

■小中一貫教育取組評価アンケートの実施

小中一貫教育の確かな推進のため、平成27年度小中一貫教育に関わる取組評価アンケート（保護者・教職員、児童・生徒）を行います。

（1）保護者・教職員評価

- ・12月中に各校の学校評価の中（評価項目を設定）で実施します。
- ・年明けの1月6日（水）までに報告（様式1号）し、市教委でその結果を集計考察します。
- ・今後の学校訪問等で報告します。

（2）児童・生徒評価

例年、児童・生徒用取組アンケートは2月初旬に実施していましたが、次年度の学校教育計画や中学校区の小中一貫教育グランドデザインに反映できないこともあるため、「保護者・教職員評価」と同時期の12月中に行います。

アンケート用紙の作成、印刷、送付、集計、分析、考察は、市教育委員会が行います。



教育センターより

教師力アップ!「若手サポート事業」

十日町市教育センターでは教職経験2～6年目までの教員を中心として、若手サポート事業を行っています。この事業の目的は、

- (1) 十日町市立学校に勤務する若手教員の指導力の向上を図るとともに、悩み等の相談に対応することで教員としての資質を高める。
- (2) 若手教員サポートを活用した校内研修体制を組むことで、受講者だけでなく学校全体の教育力を高める。

の2点です。

現在、定期サポート(年6～8回程度)11人、随時サポート(年3回程度)23人の合計34人が受講し、教師力の向上に努めています。指導には教育センターの指導主事や嘱託指導主事、各学校の校長先生や教頭先生、教職経験者の13人があたっています。

受講生や所属学校の校長先生の感想を紹介します。

- 授業後の面談で的確なご指摘やご感想をいただくことができ、反省だらけの拙い授業ではありましたが、「やってよかった」と思える授業でした。ご指導いただいたことをもとに今後の算数の授業をよりよいものにしていけるよう精進してまいります。(小学校受講生)
- ご指導ありがとうございました。学んだよさを味わわせることは大切です。それが次の学ぶ意欲につながります。毎回丁寧なご指導本当にありがとうございます。(小学校校長)



生徒指導コラム

学校における“かかわる人権教育・同和教育”

11月19日(木)千手中央コミュニティセンターで「平成27年度人権教育・同和教育教職員研修会」を開催しました。講師に新発田市同和教育推進協議会会長 駒澤一彦氏を迎え、『かかわる人権教育・同和教育』と題し、講演をいただきました。市内小中学校教職員、関係者合わせて47人が参加しました。

講演の一部

人権教育・同和教育では、人間として深く関わるのが極めて重要である。決して傍観者になってはいけない。その関わる視点は、「差別の現実の内側からの視点」、「子どもファーストという視点」、「差別の現実に触れるという視点」である。“この子をどうしたい”のか、教師自身の人権と向き合う姿勢を高め、学校組織体制構築を進めていくことが大切。教師が変われば子どもが変わる、一人が変われば全体が変わる。私たちの成長は、子ども・親・地域の成長につながる。

参加者の感想

講演を聞きながら、今日の前の子どもたち、保護者を思い浮かべながら、日々の対応を見直すことができました。

人として、教師としての基本の考え方、人としての在り方を改めて考えました。

普段何気なく「親がもっとしっかりして欲しい」とか「提出物が全然出ない」と言ってしまう。

今日の話を聞いて、「そうできない事情があるのかもしれない」と気付いた。背後にあるものもしっかり見て関わることを大切にしたい。

誰にも、みんなが気付いていない「光るもの」がある。そこを見つめ、認め、一人一人の存在を大事にしたい。

トピックス

いじめ見逃しゼロスクール集会

11月は、各中学校区で「いじめ見逃しゼロスクール集会」が行われました。どの中学校区も、内容や運営の仕方を創意工夫し、小学生と中学生が一緒になって取り組みました。一生懸命考え、真剣に話し合う姿が見られました。



水沢中学校区は、水沢小と馬場小の5、6年生と水沢中2年生合せて約150人が水沢中学校体育館に集まりました。

第1部では各学校の取組発表、第2部はグループワーク『仲間づくりゲーム』、第3部は『ノー、いじめ劇』の鑑賞とロールプレイという構成でした。

劇の状況設定は、「いかにもというようないじめの状況」でなく、「何気ない会話の中に潜むいじめにつながりそうな状況」をさらっと表現したものであり、その日常性のため、かえって

その後のグループ協議やロールプレイが活発になり、多様な意見交流の中で意識が高まりました。

小学生の感想

いじめられている人は、とてもいやな気持ちになることが、実際にやってみて分かりました。そして、いじめられている人を助けることも必要な時があることも分かりました。

ぼくは、もし友達がいじめられていたら、助けられるようにしたいと思ったし、いじめは絶対にやってはいけないものだと思えて分かりました。

(小学校男子)



■中学校区の取組紹介（11月～12月）

中学校区名	11月の取組	12月の予定
拡大中学校区 	■11月5日（木）拡大中学校区中学部特別支援学級ふれあい交流会 ■11月13日（金）小中交流「絆」集会 十日町中会場、中条中会場それぞれ行いました。併せて中学校部活体験を行いました。 ■11月27日（金）1日異校種体験研修 十日町中 太田教諭 →十日町小	□12月25日（金）コーディネーター会議 平成28年度の拡大中学校区年間行事計画の検討及び日程調整
南中学校区  	■11月4日（水）職員小中交流 西小 ■11月10日（火）川治小 ■11月17日（火）南中 ■11月12日（木）南中学校体験入学 中学校教諭の授業（理科、英語、体育）を受け、11の部活に分かれて体験参加しました。 ■11月11日（水）南中学校区はぐくみネットワーク会議 19:00～南中 講師；大津和子様 ■11月14日（土）川治小、西小6年生保護者の情報交換会・懇談会 ■11月下旬 一貫教育だよりNo.4の発行	□12月9日（水）学区教職員研修会 中学校数学の授業公開と協議 13:00～南中学校 □12月中 小中一貫各班会議 □12月中 南中学校区小中一貫だよりNo.5の発行

吉田中学校区  【いじめ見逃しゼロスクール集会】	■11月13日(金)吉田パワーアップ作戦 吉田小、鑑島小の5,6年生と吉田中1年生と一緒に食事について考え、調理実習をしました。 ■11月17日(火)中学校区授業研究会 鑑島小に3校が集まり、授業研究会・協議を実施しました。 ■11月20日(金)いじめ見逃しゼロ集会 吉田中に小学校5,6年が集まり、いじめについて考えいじめを許さない学校を作る心を育てました。	□特記事項なし 
下条中学校区  【交流集会終りの集い】	■11月2日(月)8:40~9:25 小中交流活動終わりの集い(下条中体育館) 1年間の小中交流活動の発表とまとめを行いました。 ■11月26日(木)異校種体験研修 下条小 樋口教諭→下条中	□12月15日(火)異校種体験研修 下条中 真柄教諭→下条小 □12月24日(木) 小中合同職員会議
水沢中学校区	■11月5日(木)小中いじめ見逃しゼロスクール「絆交流」。小学校5,6年生と中学校2年生が一堂に会し、いじめをなくすためのグループワークやロールプレーを行いました。 ■11月7日(土)~13日(金)元気アップ週間② 家庭学習強調週間 ■11月19日(木)進学指導委員会③ 小学校6年生に関わる情報交換を行いました。 ■11月26日(木)小中一貫三部会幹事長会 グランドデザインについて原案持ち寄り検討。 ■11月27日(金)6年理科乗り入れ授業 水沢・馬場小6年生を対象に、中学校理科の先生が地層の現地学習を指導しました。	□12月14日(月)小中一貫教育三部会 □12月22日(火)地区教務主任会  【小中絆交流】
川西中学校区  【受付の中学生】	■11月12日(木)異校種体験研修 橘小 栗原教諭→川西中 ■11月12日(木)~19日(木) 家庭学習強調週間③ ■11月13日(金)紫銀祭(しぎんさい) 生徒会主催の行事の中で、小学校6年生と保護者を招待し、交流活動を行います。 また、中学校3年生の総合学習発表の参観や部活動体験をします。 ■11月17日(火)地区いじめ不登校対策委員会	□12月中 小中一貫教育だよりの発行 
中里中学校区  【国語授業体験】	■11月1日(日)中里地区PTA親善球技大会 ■11月4日(水)中学校体験 田沢小、貝野小、倉俣小の3小学校5,6年生が中里中学校で授業体験、部活体験をしました。 ■11月4日(水)1日異校種体験研修 田沢小 坂門教諭→中里中 ■11月13日(金)1日異校種体験研修 倉俣小 若林教諭→中里中 貝野小 樋口教諭→中里中 ■11月24日(火)マリンバ演奏観賞会 3小学校全校児童が観賞しました。マリンバの生演奏に感動しました。	□12月2日(水)小中一貫教育推進部会 □12月3日(木)中里地区校長会及び中里なかよし保育園長との情報交換 □12月下旬 中里地区評価アンケート実施 中里地区評価アンケート集計  【マリンバ演奏】

松代中学校区  【コーディネーショントレーニング】	■11月9日（月）～13日（金）すこやかウィーク 「基本的な生活習慣の確立」をねらいとし、第2回目の生活改善週間を実施しました。「すこやかカード」で、家庭と連携して取り組みました。 ■11月12日（木）5年生の授業公開、研究協議 松代保育園、松代高校、及び松之山中学校区の教職員の参加者を含め、高めたい3つの学力についての効果的な指導法をテーマに、ワールドカフェ方式でグループ協議を行いました。 ■11月20日（金）コーディネーショントレーニング 小学校5年生と中学校1年生が一緒に行いました。この組み合わせは2年後に中1一中3になる関係です。長い視点での小中一貫で体力向上を図っています。 ■11月26日（木）～12月4日（金） 家庭学習強調週間	□12月25日（金）地区教育振興会 今年度の取組の評価と来年度への課題について、各部会に分かれて協議。  【研究協議会】
松之山中学校区 	■11月4日（水）すこやか子育て委員会；講師に上教大山本隆一准教授をお迎えし教職員、地域住民で「メンタルヘルス研修会」を行いました。 ■11月9日（月）小中合同職員研修会；講師に五島由美子様をお迎えし「生活・総合9年間のキャリアムづくり」の研修をしました。 ■11月13日（金）ネットトラブル防止学習 五十嵐守男諏訪小校長を講師に、5，6年生と中学生を対象に学習会を行いました。	□特記事項なし  【ネット学習で 小中話し合い】